

NoBookNoLife

群馬県立高崎高等学校図書館

2024年4月号

4月はいろんなことが新しくなり、疲れていませんか？
図書館は“誰でも自由に”利用できる 場所です。
読書、勉強、ひと休みなど、気軽に足を運んで過ごしてくださいね。

開館時間
8:45～16:50

※変更になる場合もあります

図書館蔵書検索



高崎高校図書館 classroom

クラスコード
cfgbcm3



新着任の先生 おすすめの本



佐鳥 秋彦 校長先生

『代表的日本人』内村鑑三著（岩波文庫）←図書館にあります

内村鑑三と言えば、群馬県民なら上毛カルタの取り札『こ』の十字架と共に描かれた髭の男性を思い浮かべることと思います。その内村鑑三が日本人の生き様を海外に向けて発信したのが英文で発信したのがこの本です。5人の人物を取り上げていますが、できれば全編を読んで、内村鑑三がなぜこの5人を取り上げたのか思いを巡らせてもらえればと思います。

読後には、なるほど「心の灯台 内村鑑三」とうなっているはずです。



校長先生が始業式で話してくださった3F精神の由来は覚えていますか？当時の校長・田中悦平先生の著書、本校図書館には残念ながらありませんでした。県立図書館、高崎市立図書館では所蔵しています。

『高校生の倫理』田中悦平著（理念社）1955年刊 『若い世代への期待』田中悦平著（文化社）1962年刊

青木 紀仁 先生（化学）

『空想科学読本』柳田理科雄著（KADOKAWA）←図書館にあります

私がお薦めする図書は「空想科学読本」です。この本では、漫画やアニメにおいて現実では起こりえない現象を科学的に解析してみるという内容が書かれています。

タケコプターは頭につけるだけで飛べるのか、モンスターボールにどうやってポケモンが入るのかなど。さまざまな理論を駆使してまじめに研究しています。理科が好きな人にはお薦めです

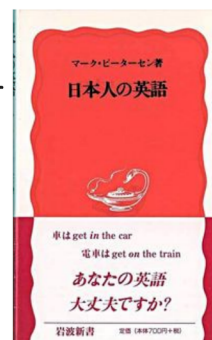


小林 量 先生（英語）

『日本人の英語』マーク・ピーターセン著（岩波新書）←購入予定です

外国人が話す日本語に違和感を感じるように、日本人の英語にも日本人特有のクセがあるようです。aとthe、単数と複数、可算名詞と不可算名詞など日本人の感覚では捉えづらい表現を英語母語話者の視点からわかりやすく解説しています。

コミュニケーション力や論理的思考力が重視される時代ですが、それらを支えるものは確かな文法への理解であり、きっとこの本はその助けとなるはずです。



★NoBookNoLifeは高崎高校のホームページでも閲覧できます★